

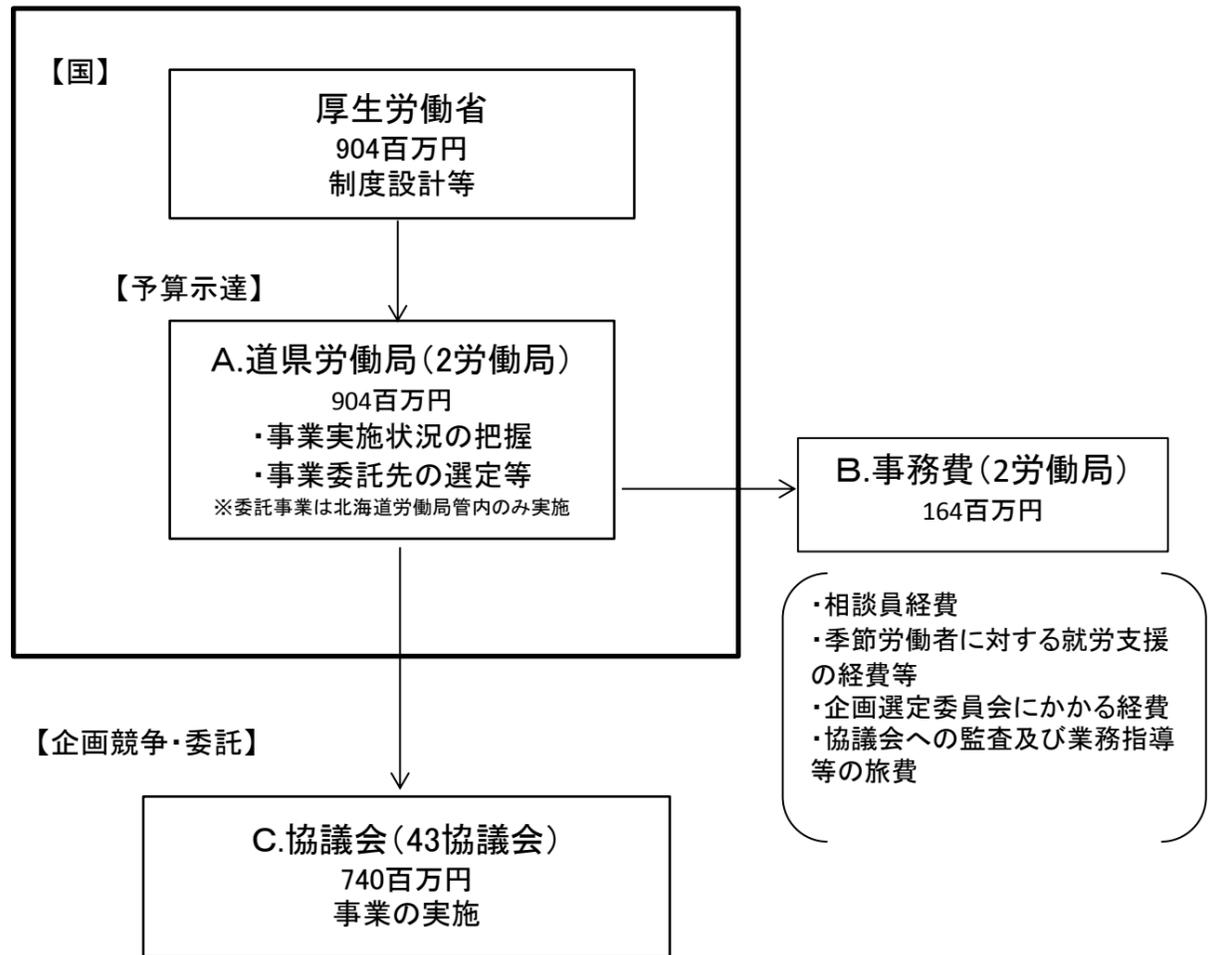
平成27年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

事業名	季節労働者通年雇用促進等事業費			担当部局庁	職業安定局			作成責任者	
事業開始年度	平成19年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	地域雇用対策室			地域雇用対策室長 中村かおり	
会計区分	労働保険特別会計雇用勘定			政策・施策名	IV-2-1地域、中小企業、産業の特性に応じ、雇用の創出及び雇用の安定を図ること				
根拠法令(具体的な条項も記載)	雇用保険法第62条第1項第4号及び第5号、雇用保険法施行規則第115条第5号及び第19号			関係する計画、通知等	「通年雇用促進支援事業の実施について」(平成19年4月2日付け職発0402014号) 「季節労働者就労支援事業の実施について」(平成19年8月7日付け職発第0807002号)				
主要政策・施策				主要経費	社会保障				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	季節労働者の通年雇用の促進をより効果的に行うため、地域による自主性・創意工夫ある取組を支援する事業等を実施し、季節労働者の通年雇用の一層の促進を図る。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	季節労働者の通年雇用の促進に自発的に取り組む地域の関係者から構成される協議会が策定した雇用対策の計画の中から、通年雇用の効果が高いものを選定し、当該協議会に事業を委託するほか、季節労働者に対し、ハローワークが提供し得る多様な手段を総合的に活用しながら、担当者制による個々のニーズを踏まえた計画的で一貫した就労支援を行う。								
実施方法	直接実施、委託・請負								
予算額・執行額(単位:百万円)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求			
	予算の状況	当初予算	1,125	1,074	1,072	976			
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
	計	1,125	1,074	1,072	976	0			
執行額	897	881	904						
執行率(%)	80%	82%	84%						
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度	
	各協議会の計画に成果目標として掲げられた値の合計の8割以上	通年雇用促進支援事業により達成された季節労働者の通年雇用化数	成果実績	件	1,767	2,605	2,742		
			目標値	件	1,549	1,692	1,708	1,724	
			達成度	%	114.1%	154%	160.5%		
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度	
	就職支援ナビゲーター(季節労働者支援分)による常用就職率が38.9%以上	就職支援ナビゲーター(季節労働者支援分)による常用就職率	成果実績	%	45.5	44.6	42.4		
			目標値	%	33	35	38.6	38.9	
			達成度	%	137.9%	127.4%	109.8%		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	事業利用者数	活動実績	人	32,556	27,104	20,758			
		当初見込み	人	39,871	33,337	24,524	30,507		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	就職支援ナビゲーター(季節労働者支援分)による支援開始者数	活動実績	人	3,194	3,289	3,277			
		当初見込み	人	-	-	3,270	3,253		
単位当たりコスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	X:通年雇用促進支援事業に係る執行額(円) / Y:セミナー参加者数(人)		単位当たりコスト	円	22,211	26,430	35,649.1	24,039.8	
		計算式	X / Y		723,125,000円 / 32,556人	716,346,000円 / 27,104人	740,004,000円 / 20,758人	733,383,000円 / 30,507人	

単位当たり コスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	X: 季節労働者就労支援事業に係る執行額(円) / Y: 就職支援ナビゲーター(季節労働者支援分)による支援開始者数(人)				円	54,475	49,896	49,327.7
			計算式 X / Y	173,447,000円 / 3,184人	164,108,000円 / 3,289人	161,647,000円 / 3,277人	172,406,000円 / 3,253人	
平成 27・28 年度 予算 内訳 (単 位: 百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	138						
	職員旅費	2						
	委員等旅費	2						
	庁費	33						
	地域雇用機会創出事業等委託費	801						
	計	976	0					

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費 要投入 の必	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	季節の影響により離職を余儀なくされる季節労働者の通年雇用化を促進するため、地域の自主性・創意工夫による取組を支援する事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	地域雇用対策として国が実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	成果実績は雇用保険二事業における指標と位置づけられており、優先度の高い事業となっている。	
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		△	企画競争による選定ではあるが、各地域協議会が策定した雇用対策の事業計画の中から、季節労働者の通年雇用化に資する事業に対し業務を委託するもの。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	セミナー等を実施するためのコストとして約3万円は低廉であり、アウトカムも達成していることから妥当な水準である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	季節労働者の通年雇用化を支援するために必要となる経費に限定している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	各協議会の節約等によるものであり、妥当である。	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-		
事業の 有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	成果実績が成果目標を上回っている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	事業の達成度及び活動実績については、目標に応じた適切なものである。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	概ね当初の見込み通りである。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-		
関連 事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	本事業は、季節労働者への職業相談や求人開拓、事業主向けの経営セミナー等ソフト面での支援。他方、通年雇用奨励金は、季節労働者を通年で雇用した場合等事業主にその費用を助成するもの。それぞれの支援内容について、役割分担を行い、これらの事業の連携により季節労働者の通年雇用化を図っている。	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	厚生労働省職業安定局	503	通年雇用奨励金		
点検・ 改善結果	点検結果	平成26年度においては、受託者を訪問し適切に事業が執行されるよう指導を行った。また、実施地域ごとで活動状況に差があるため説明会を開催し実施事例を示し状況の改善を図った。また、通年雇用化数も協議会の計画における成果目標を大幅に上回り、また、アウトプットも目標の8割以上であることから、適正な事業執行が行われている。			
	改善の方向性	効果的に事業を実施している地域のノウハウを他地域に普及させるために、協議会の担当者を集めた研修会を実施する。その他、状況の変化や地域のニーズに注視し、都度、適切な改善を図る。			
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	721	平成23年度	656	平成24年度	580
平成25年度	493	平成26年度	496		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.北海道労働局					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	通年雇用促進支援事業の実施に必要な経費	740			
その他	相談員経費、季節労働者に対する就労支援の経費等、企画選定委員会に係る経費、協議会への監査及び業務指導等の旅費等	149			
計		889	計		0
B.北海道労働局					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	相談員経費、季節労働者に対する就労支援の経費等、企画選定委員会に係る経費、協議会への監査及び業務指導等の旅費等	149			
計		149	計		0
C.さっぽろ協議会					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
管理費	雇用促進支援員人件費等	40			
事業費	セミナー開催経費、企業説明会開催経費、求人開拓経費、実態調査経費	93			
消費税		11			
計		144	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	北海道労働局	通年雇用促進支援事業等事業の実施に必要な経費等	889	-	-
2	青森労働局	事務費	15	-	-
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	北海道労働局	事務費	149	-	-
2	青森労働局	事務費	15	-	-
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	さっぽろ季節労働者通年強促進支援協議会	通年雇用促進支援事業の実施	165	43	-
2	上川中部季節労働者雇用促進協議会	通年雇用促進支援事業の実施	52	43	-
3	釧路地域通年雇用促進支援協議会	通年雇用促進支援事業の実施	34	43	-
4	十勝北西部通年雇用促進協議会	通年雇用促進支援事業の実施	30	43	-
5	函館季節労働者通年強促進支援協議会	通年雇用促進支援事業の実施	27	43	-
6	標津地域通年雇用促進協議会	通年雇用促進支援事業の実施	26	43	-
7	ふるさと東十勝通年雇用促進協議会	通年雇用促進支援事業の実施	24	43	-
8	帯広・南十勝通年雇用促進協議会	通年雇用促進支援事業の実施	24	43	-
9	北見地域季節労働者通年雇用促進協議会	通年雇用促進支援事業の実施	24	43	-
10	稚内地方通年強促進協議会	通年雇用促進支援事業の実施	22	43	-